

平成23年12月

京都市こどもの感染症

ご存知ですか？

RSウイルス感染症

乳幼児は肺炎になることも…

今年は大流行が
予測されます。

例年、秋から冬にかけて流行し、12月～1月にピークとなりますので、ご注意ください。

★京都市での発生の様子★



どんな病気？

- ・症状は、発熱・鼻水・せきなどです。
- ・2歳以下では、しばしば気管支炎や肺炎を発病し、特に、6ヶ月以下の乳児は重症化しやすく、注意が必要です。
- ・低出生体重児や基礎疾患のある方は、より重症化のリスクが高いといわれています。

感染経路・予防方法は？

- ・ウイルスの付着した手指から、目・鼻・口を経て感染 ➡ 手洗いで予防
- ・せきで飛び散ったウイルスが気道を経て感染 ➡ マスクで予防
- ・年長児では症状が軽いため感染に気付かず、感染源となる場合が見られます。

気になる症状がある場合はすぐにかかりつけの医療機関を受診しましょう。

◆内容に関するお問い合わせ先◆

○お近くの保健センター

○京都市保健福祉局 保健医療課 (TEL:075-222-4421 FAX:075-222-3416)

○京都市衛生環境研究所 管理課 (TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232)

(衛生環境研究所のホームページからもご覧になれます。)